

別紙

第61回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分科会名	第2分科会	演題番号	206
題名	うつ病集団回復プログラムにおける精神科ショートケアの試み		
所属	静岡市こころの健康センター		
氏名	○伊藤香南子、鈴木紅龍、笠井正一、藤田千尋、鹿子恵美、大久保聡子		
要旨 (簡潔に)	<p>静岡市こころの健康センターでは、認知行動療法を軸とした「うつ病集団回復プログラム」を行っている。従来から「週3日の精神科デイケア」の枠組で行っていたが、令和5年度より試験的に「週1日の精神科ショートケア」の枠組で実施した。その結果、週3日デイケアでの実施時と比較すると抑うつ症状評価尺度で評価した症状改善の程度は低いものの、ショートケアにおいてもプログラム参加前後で有意な改善がみられた。また、デイケアよりもショートケアにおいて参加者属性の多様性がみられた。一方で、ショートケアは頻度・時間ともに限られた枠組での実施であるため、参加者の生活リズムの改善が不十分であり、また参加者のプログラムの理解にも課題が残り、個別フォローの必要性があるなど、今後検討すべき課題が明らかになった。加えて、症状改善の維持および再発予防には、終了後のフォローも重要であり、地域の医療機関を含め、参加者を取り巻く支援者らとの連携を密にしていくことが重要と考えられた。</p>		